

# 地震の歴史

地震は世界の各地で起こっています。地震の震源のほとんどはプレートとプレートの境界で起こっていることがわかります。

日本は、プレートの境界に位置しているため昔から地震が多く、プレート境界型の巨大地震や活断層型地震などが発生しています。



年	地震名	マグニチュード	被害
684	白鳳南海地震	M8.0	津波による被害有り
868	播磨・山城地震	M7.0	
869	貞観三陸地震	M8.3	死者十人以上、津波による被害有り
887	仁和地震	M8.0	死者多数、津波による被害有り
1096	永長地震	M8.0	死者約一万人、津波による被害有り
1099	康和地震	M8.0	死者約数万人、津波による被害有り
1293	鎌倉大地震	M7.1	死者一万三千人
1361	正平・康安地震	M8.0	死者多数、津波による被害有り
1498	明応地震	M8.2	死者約三万人以上、津波による被害有り
1596	慶長伏見地震	M7.0	死者十人以上
1605	慶長地震	M8.0	死者約一万人以上、津波による被害有り
1611	慶長三陸地震	M8.1	死者約一千五百人、津波による被害有り
1662	寛文近江・若狭地震	M7.3~7.6	死者数千
1666	越後高田地震	M6.4	死者千四百~千五百人
1677	延宝房総沖地震	M8.0	死者五百人以上、津波による被害有り
1703	元禄地震	M8.1	死者約一万人以上、津波による被害有り
1707	宝永地震	M8.4	死者約二万人以上、津波による被害有り
1751	高田地震	M7.0~7.4	死者約千五百人

年	地震名	マグニチュード	被害
1766	津軽地震	M6.9	死者約千五百人
1771	八重山地震	M7.4~8.0	死者約一万人
1843	十勝沖地震	M7.5	死者四十六人、津波による被害有り
1847	善光寺地震	M7.4~8.0	死者二万~一万三千人
1854	安政東海地震	M8.4	死者約一千人以上、津波による被害有り
1854	安政南海地震	M8.4	死者約一千~三千人、津波による被害有り
1872	浜田地震	M7.1	死者約五百五十人
1891	濃尾地震	M8.0	死者七千二百七十三人
1894	庄内地震	M7.0	死者七百二十六人
1896	明治三陸地震	M8.2	死者一万人以上、津波による被害有り
1896	陸羽地震	M7.2	死者二百九人
1923	関東大震災	M7.9	死者・行方不明者十万人以上
1925	北但馬地震	M6.8	死者四百二十八人
1927	北丹後地震	M7.3	死者千九百二十五人
1933	昭和三陸地震	M8.1	死者・行方不明者三千六十四人、津波による被害有り
1943	鳥取地震	M7.2	死者八十三人
1944	東南海地震	M7.9	死者・行方不明者千二百三十三人、津波による被害有り
1946	南海地震	M8.0	死者・行方不明者二千三百三十人、津波による被害有り

年	地震名	マグニチュード	被害
1948	福井地震	M7.1	死者・行方不明者三千七百六十九人
1952	十勝沖地震	M8.2	死者二十八人、行方不明者五人、津波による被害有り
1964	新潟地震	M7.5	死者二十六人、津波による被害有り
1968	十勝沖地震	M7.9	死者五十二人、行方不明者三百三十人、津波による被害有り
1978	宮城県沖地震	M7.4	死者二十八人
1983	日本海中部地震	M7.7	死者百四人
1984	長野県西部地震	M6.8	死者・行方不明者二十九人
1993	釧路沖地震	M7.5	死者二人
1993	北海道南西沖地震	M7.8	死者百三人、行方不明者十八人、津波による被害有り
1994	三陸はるか沖地震	M7.6	死者二人
1995	阪神・淡路大震災	M7.3	死者六千四百三十四人、行方不明者三人
2001	芸予地震	M6.7	死者一人
2003	十勝沖地震	M8.0	死者一人、行方不明者一人、津波による被害有り
2004	新潟県中越地震	M6.8	死者六十八人
2007	新潟県中越沖地震	M6.8	死者十五人
2008	岩手・宮城内陸地震	M7.2	死者十七人
2011	東日本大震災	M9.0	死者・行方不明者一万八千五百七十九人、津波による被害有り